

機関リポジトリの拡がり

オーバーレイジャーナル、電子出版システム、業績DB連携

- NIIポータル研修資料 2007年8月22日(水)
- 於 国立情報学研究所1
- 金沢大学情報部情報企画課 内島秀樹

機関リポジトリ機能の拡張 3つのテーマ

- 目的** IRに付加価値を加えて、研究者、利用者支援を行なうこと
- 方法** IRに他のシステムを連携させることで付加価値を生み出す
- プロジェクト** CSI事業 領域2の研究テーマとして現在実施中

3つのテーマと機能拡張

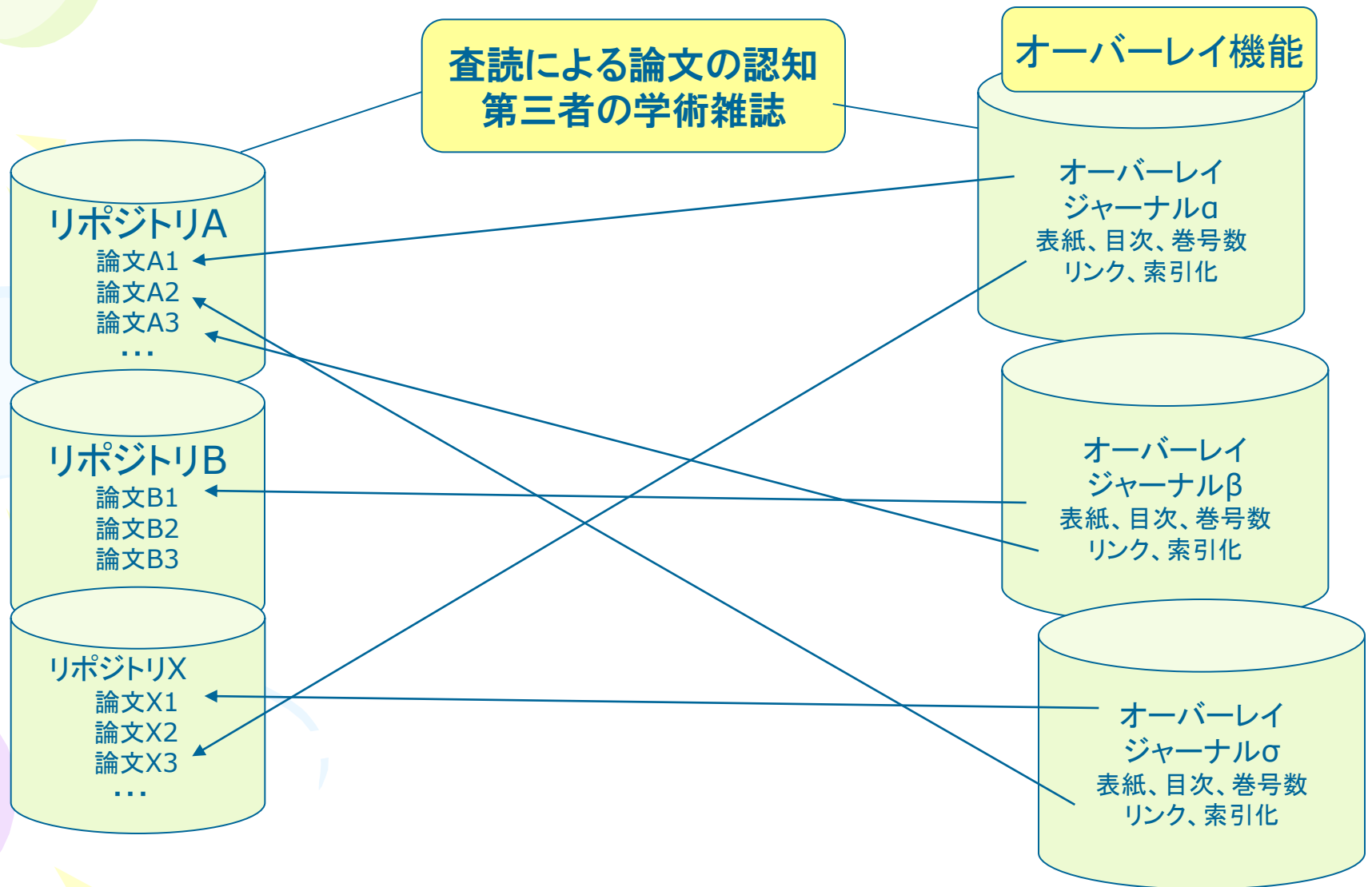
- (1) オーバーレイジャーナル 千葉大学
(機能) 学会発信支援 (連携システム) 目次情報からIRへのリンク機能
- (2) 業績DB連携 早稲田大学、金沢大学、信州大学
(機能) コンテンツ登録支援 (連携システム) 教員業績データベース
- (3) 電子出版システム 早稲田大学、広島大学、長崎大学
(機能) 学内刊行物発信支援 (連携システム) 電子出版システム

オーバーレイジャーナル(1)

オーバーレイジャーナルとは何か？

- (1) 複数のリポジトリに登録された論文(デジタルコンテンツ)を第三者の雑誌(電子ジャーナル)が査読し、雑誌に登載する。(ボーンデジタル)
- (2) 第三者の雑誌は、各IRのデジタルコンテンツへ雑誌としての諸条件を付与して、インターネット上で掲載論文として再公開する。
- (3) 雑誌としての諸条件とは、タイトルページや目次情報、コンテンツへのリンク機能、メタデータなどの諸条件。(インターネット時代の新機能)
- (4) 本質的には、リポジトリの論文(デジタルコンテンツ)は査読と掲載による認知を受けることになる。(査読という本質機能の保持)
- (5) つまり、まずリポジトリとデジタルコンテンツがあり、それを査読して認知した上で、オンライン上の雑誌機能をオーバーレイすることがオーバーレイジャーナルの本質になる → **図1**

図1 オーバーレイジャーナルのモデル



オーバーレイジャーナル(2)

オーバーレイジャーナルの定義と具体例

(1) 具体例 Annals of mathematicsとarXiv.orgとの関係

Annals of mathematicsがarXivにアップされた論文を査読してリンク

(2) Peter Suberの定義

(著者の自主的意思により)アーカイブに登録されたプレプリントの投稿を受け、査読を行なうオープンアクセスジャーナル。論文が受理(おそらく改訂後)されたら、受理済みを示す幾つかの指示とともにポストプリントもアーカイブに登録される。

そのような指示の一つは、雑誌名を含む新しい引用である。もう一つは、雑誌のオンライン**TOC (Table of Contents)**からのリンクがあり得る。三番目は、ファイルに関連付けられたメタデータがあり得る。

オーバーレイジャーナルは一つ或いは多数のアーカイブと関連付けることが可能である。オーバーレイジャーナルは受理された論文を配布するための装置を持たず、既存の相互運用可能なアーカイブ群を使用するからである。それは査読のみを行なう**最小限の雑誌 (minimalist journal)**である。

<http://www.earlham.edu/~peters/fos/guide.htm> より抄訳

オーバーレイジャーナル(3)

千葉大学のオーバーレイジャーナル →図2

(1) 千葉医学雑誌 学会誌のオーバーレイジャーナル

学会のHPにcuratorの検索窓があり、学会誌分を一括検索
コンテンツは学会事務局より提供 目次情報からのリンク
ただし、紙媒体は継続して学会事務局が刊行している

(2) 公共研究 21世紀COEの雑誌

拠点HPにcuratorの検索窓があり、公共研究分を一括検索
コンテンツは学会事務局より提供 目次情報からのリンク
ただし、紙媒体は継続して拠点事務が刊行している

(3) 今後の課題

ボーンデジタル化の推進、投稿・査読・編集機能の提供(電子出版)

図2 Curatorとオーバーレイジャーナル CSI報告会資料より抜粋(許諾済み)

「**千葉医学雑誌**」
千葉医学会発行の学会誌

The Chiba Medical Society
千葉医学会

千葉医学雑誌 最新号

2006年12月 82巻6号
CHIBA MEDICAL JOURNAL
Volume 82, Number 6.

→ 最新号詳細
→ バックナンバー一覧 **和文・英文**

■ 医学雑誌に関するお知らせ ■
千葉大学学術成果リポジトリ CURATOR、エルゼビア社の学術情報検索エンジンサイラスにて、千葉医学雑誌(81巻1号～82巻5号)が公開されています。本会ホームページ

検索窓による雑誌限定検索

検索窓: CURATOR Powered by CURATOR

SCIRUS 科学技術専用の検索サービス
SCIRUS

TEL: 260-8670 千葉市中央区亥島1-8-1 千葉大学大学院医学研究院内 千葉医
Tel: 043-202-3755 / Fax: 043-202-3757 E-mail: info@c-m
Copyright (C) 2002 The Chiba Medical Society. All Rights Reserved.

「**公共研究**」
21世紀COE発行のオピニオン誌

本誌の
趣意
21COEに
事業紹介と推進メン
推進メンバー
公共政策
公共哲学
国際公共比較
シンポジウム・セミナー
最新スケジュール
対話研究会
最新スケジュール
刊行物
季刊「公共研究」
「公共研究」叢書
国際ジャーナル
公共研究センター
メンバー紹介
福祉環境交流センター
公共哲学センター
市民活動連携室
その他
リンク集
アクセス/お問合
21世紀COEプログラ
ホームページへ

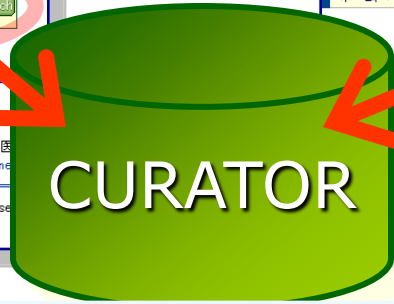
季刊「公共研究」
2005年3月 第1巻 第2号

■ 第4巻2号の原稿募集中 2007年3月12日(月)まで

フルテキストへのリンク

バックナンバー
第1巻第1号 2004年12月
第1巻第2号 2005年 3月
第2巻第1号 2005年 6月
第2巻第2号 2005年 9月
第2巻第3号 2005年 12月
第2巻第4号 2006年 3月
第3巻第1号 2006年 6月
第3巻第2号 2006年 9月 **New**

■ 「公共研究」掲載の論文を以下で検索できます



学内研究成果出版・発信の支援
機関リポジトリの孤がり

オーバーレイジャーナル(4)

オーバーレイジャーナルと機関リポジトリの意味 図3

(1) IRが大学の学術情報流通の密接なパートナーとなる

→ 紀要や学内刊行物をオーバーレイ的に発信する可能性

より積極的な発信支援と、学内におけるIRの位置づけの強化

(2) 学術発信のオープンデジタル化の推進が可能となる(進化形)

(3) 機関リポジトリが学術情報発信のプラットフォームとなる(将来形)

→ ○ インターネット時代の新たな学術コミュニケーションのスタイル

○ ポストゲーテンベルグ時代(Harnad)の出版活動のモデル

○ この場合は、査読機能のみに特化した第三者の雑誌がIRをはじめとするデジタルアーカイブにオーバーレイすることが条件

紙媒体の実質オープンアクセス
(しかし、紙での流通はOAではない)

学術情報のオープンアクセス環境

図 3

交換、配布

リポジトリ

目次情報
リンク機能
メタデータ

目次情報
リンク機能
メタデータ

リポジトリ

紀要、学内刊行物
紙媒体

紀要、学内刊行物
紙媒体

電子出版
システムの
利用可能性

研究者

研究者

研究者

電子出版システム(1)

- ・ **CSI事業 領域2** (主担当)早稲田大学 (連携)広島大学、長崎大学
- **目的** 紀要、学内刊行物掲載論文をIRへ簡便に登録可能とすること
- **概要** 学内刊行物の電子出版(査読・編集を含む)を可能とするシステムの開発と配布
- ・ **プロジェクトの内容(2006年度実施済み)**
 - (1)カナダのオープンソース Open Journal Systemの日本語化
 - (2)独自日本語査読システムの開発 (株)ウイザード
 - (3)両システムとIRとの連携システムの開発
- ・ **プロジェクトの内容(2007年度実施予定)**
 - (2)学内刊行物の電子出版システム採用のプロモート
 - (3)テスト ex. 早稲田商学 学位論文のデジタル化への応用
 - (4)テスト結果の公開

電子出版システム(2)

- オープンソースとしての電子出版システムの目的とは？

- (1) 学術情報の発信を自前で実施することにより、学術コミュニケーションのコントロールを取り戻す。
- (2) インターネット時代、電子化時代に相応しいオープンデジタルの学術雑誌を創刊する。
- (3) IRのようなただのセルフアーカイブではない、ビジネスモデルを持った学術雑誌を創刊する。(オープンアクセスかembargo付か?)
- (4) 図書館から見れば、研究者の学術情報発信の支援、オープンアクセスの支援を実施できる。
- (5) リポジトリやハーベスタとの連携が可能であり、学術雑誌の視認性の向上が期待できる。
- (6) 国内的には、学術発信の現代化(近代化?)が可能となる

電子出版システム(3)

- ・ **Open Journal System (OJS)とは何か？** →図1, 2, 3参照
- (1) ブリティッシュコロンビア大学のジョン・ウィリンスキーが始めたPublic Knowledge Project (PKP)によって開発されたオープンソース
- (2) PKPによるオープンソースは、OJS、Open Conference System、PKP Harvesterの3つから成る。
- (3) これらのソフトは、GNU GPL open source license として公開(2002)
- (4) OJSは、**投稿、査読、編集実務、オンライン雑誌としての公開**が可能
 - ① ローカルにインストールし、管理する
 - ② 編集者が要件、セクション、査読プロセスなどを設定する
 - ③ コンテンツの投稿と管理をすべてオンラインで行なう
 - ④ エンバーゴ付オープンアクセスを可能にする購読モジュール
 - ⑤ 包括的なインデックス作成
 - ⑤ 読書ツール 読者によるコメントツール

図1 OJSを使ったオープンアクセスジャーナル例 ACS Digital Library (Australasian Computer Society)

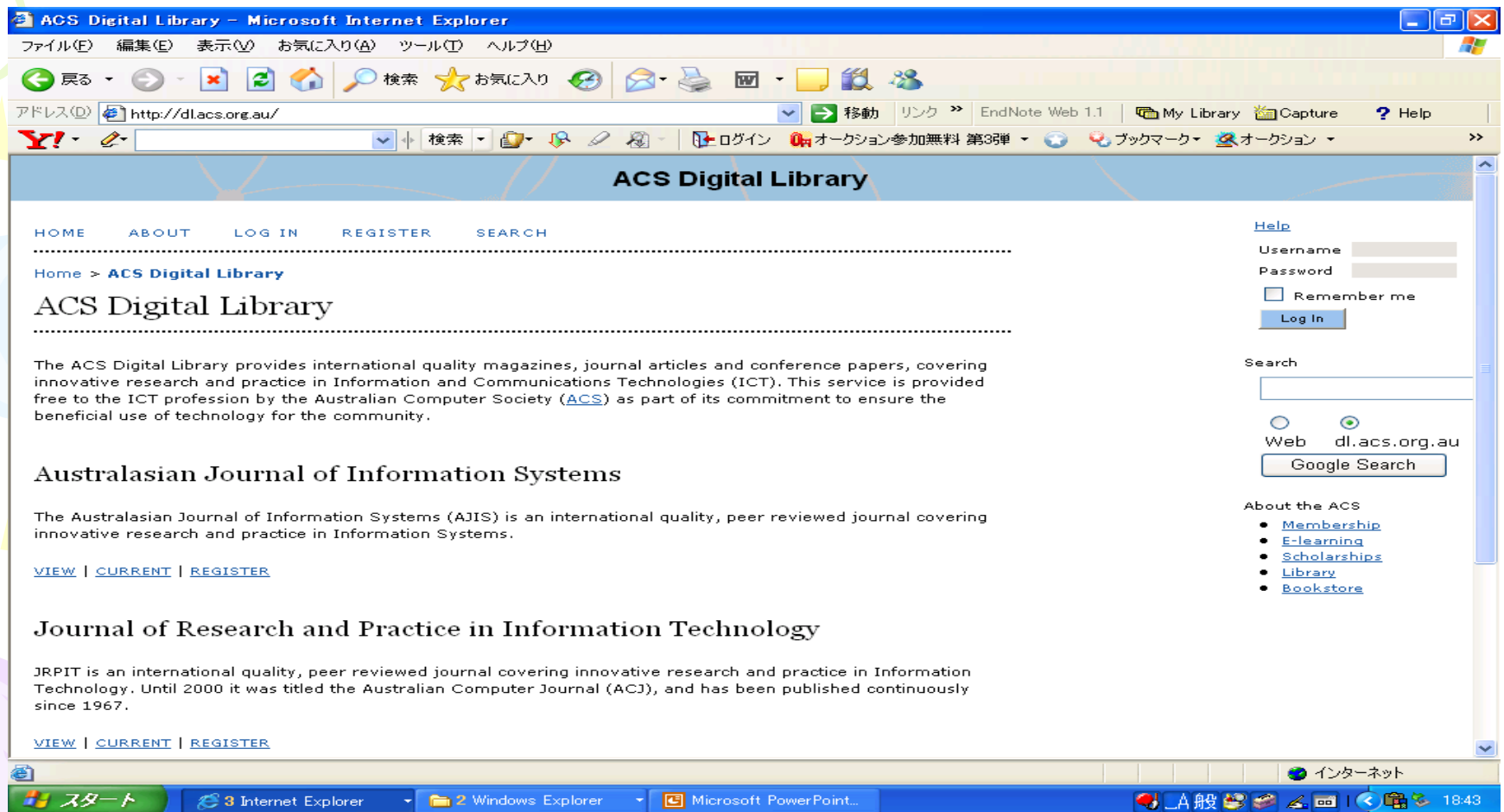


図2 OJSを使ったオープンアクセスジャーナル例 ACS Digital Library (Australasian Computer Society)

Australasian Journal of Information Systems - Microsoft Internet Explorer

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 検索 お気に入り

アドレス(D) http://dl.acs.org.au/index.php/ajis

移動 リンク >> EndNote Web 1.1 My Library Capture ? Help

検索 ログイン オークション参加無料 第3弾 ブックマーク オークション

More Announcements...

- [E-learning](#)
- [Scholarships](#)
- [Library](#)
- [Bookstore](#)

Vol 9, No 1 (2001)

Table of Contents

Editorial

Editorial [PDF](#)
Rob MacGregor

AJIS Featured Theme

Editorial [PDF](#)
Frada Burstein

Harnessing Intranet Technology for Organisational Knowledge Creation [ABSTRACT](#) [PDF](#)
Jan Damsgaard, Rens Scheepers

Knowledge Management Technology for Decision Support: an empirical examination [ABSTRACT](#) [PDF](#)
Meliha Handzic

Knowledge Management Audit - a methodology and case study [ABSTRACT](#) [PDF](#)
Thomas Lauer, Mohan Tanniru

Exploring Knowledge Management Perceptions Among Information Systems Managers - empirical sense-making through focus group research [ABSTRACT](#) [PDF](#)
David Yuh Foong, Joo Eng Lee-Patridge

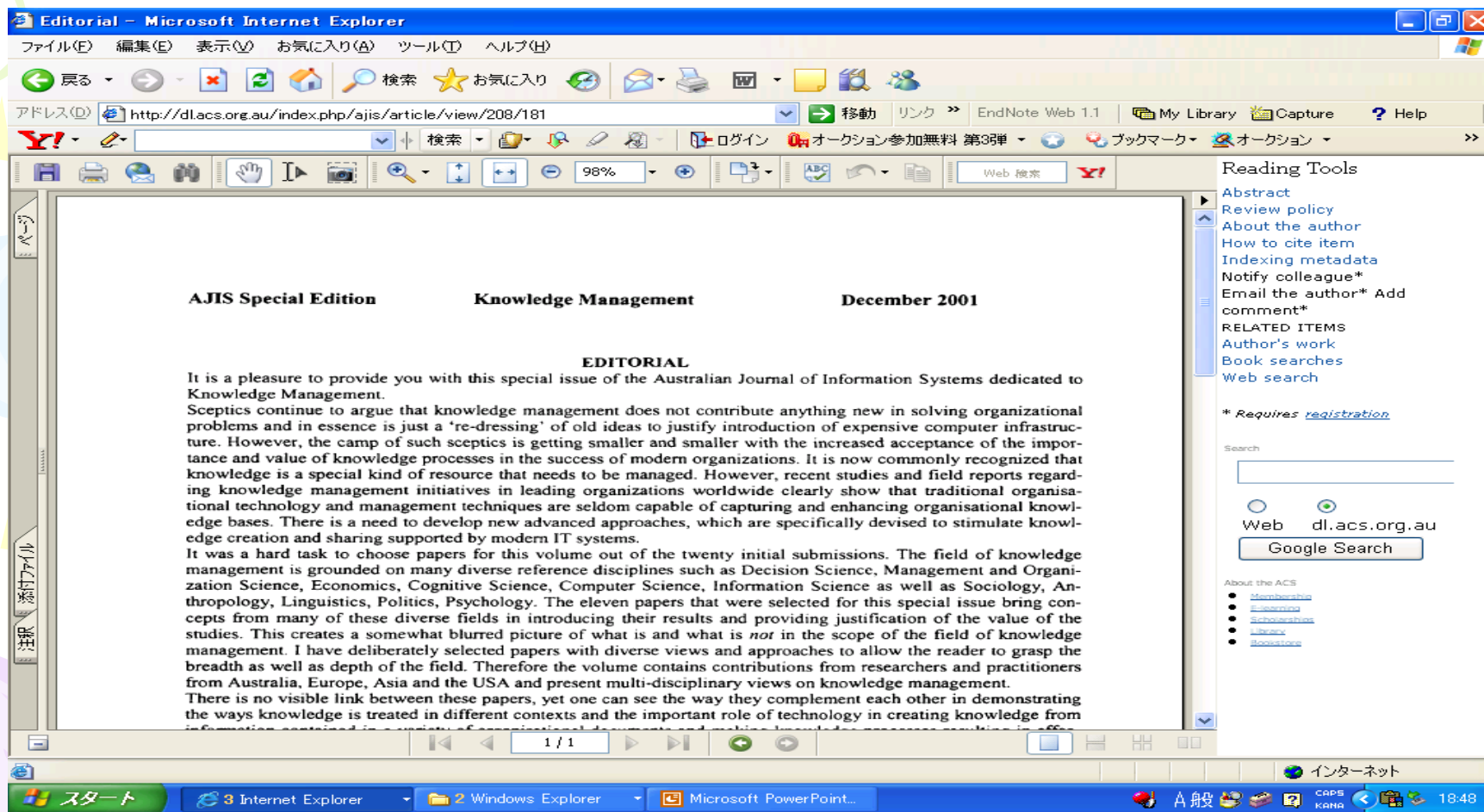
Making the Invisible Visible: modelling social learning in a knowledge management context [ABSTRACT](#) [PDF](#)
Henry Linger, Leoni Warne

Knowledge Management and Organisational Effectiveness: balancing the mild, the wild and the crazy [ABSTRACT](#) [PDF](#)
Greg Marsh, Martin Burke

From Medieval Philosophy to the Virtual Library: a descriptive framework for scientific knowledge and documentation as basis for document retrieval [ABSTRACT](#) [PDF](#)

スタート 3 Internet Explorer 2 Windows Explorer Microsoft PowerPoint... インターネット LA般 18:45

図3 OJSを使ったオープンアクセスジャーナル例 ACS Digital Library (Australarian Computer Society)



電子出版システム(5)

● 電子出版システムと機関リポジトリの連携

査読誌と非査読誌でシステムを使い分ける →図4、図5参照

- (1) 査読誌 OSJ利用
- (2) 非査読誌(紀要)や学位論文 ウィザード開発システム利用
- (3) 投稿、査読、編集、採録、WEB公開までの機能を提供
- (4) どちらも印刷はオプション
- (5) 電子出版システムに、メタデータとPDFを作成、格納
- (6) 図書館が確認の上、メタデータとPDFをIRに転送(連携開発)
- (7) 効果1 学会や紀要編集委員会から見れば編集作業の簡易化
- (8) 効果2 図書館から見れば、ボーンデジタルコンテンツをIRに容易に登録し、発信可能となる(コンテンツ収集の効果)
- (9) 効果3 大学の学術情報発信のボーンデジタル化と視認性の向上

図4 OJSと機関リポジトリの連携イメージ

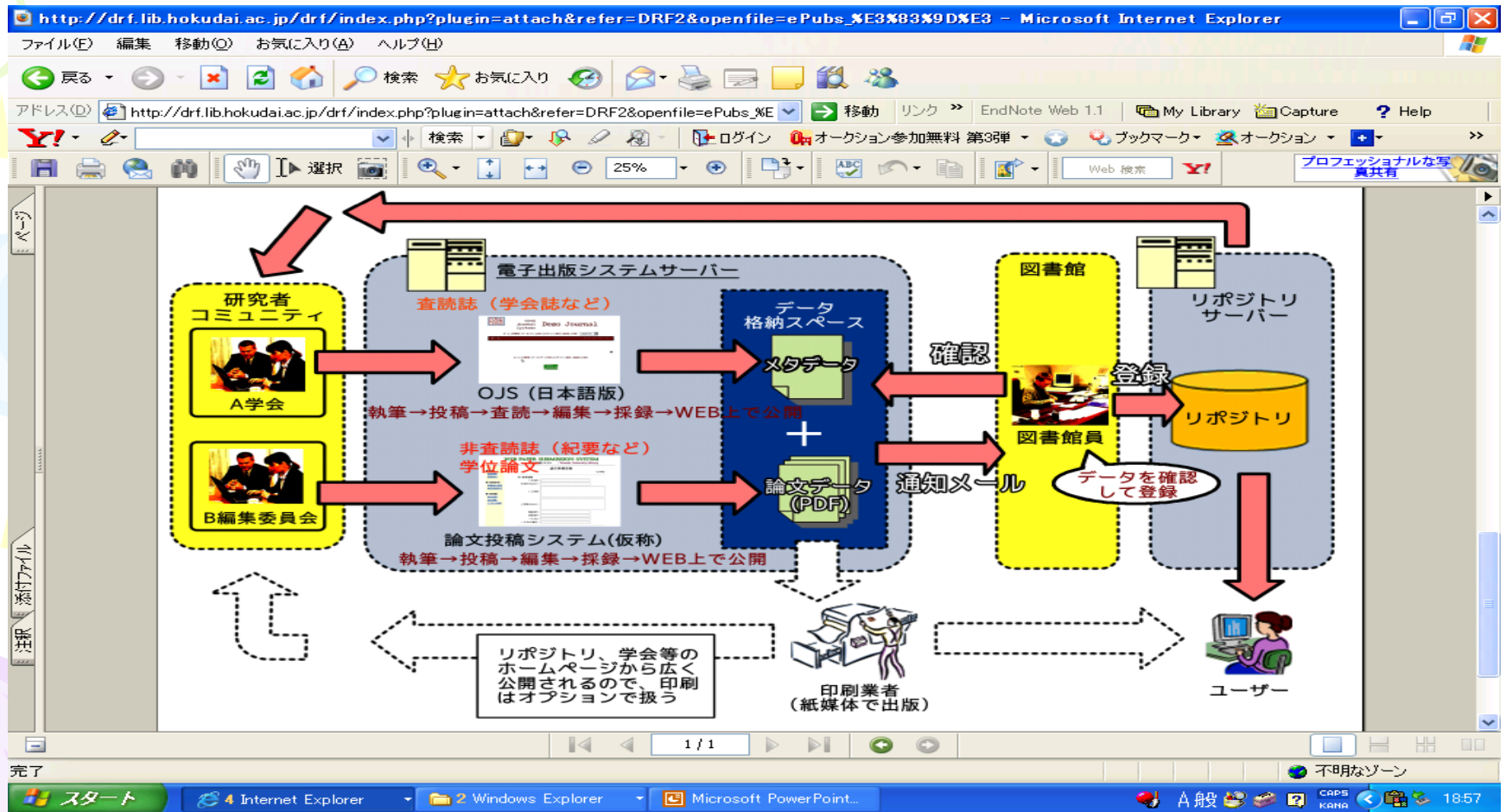
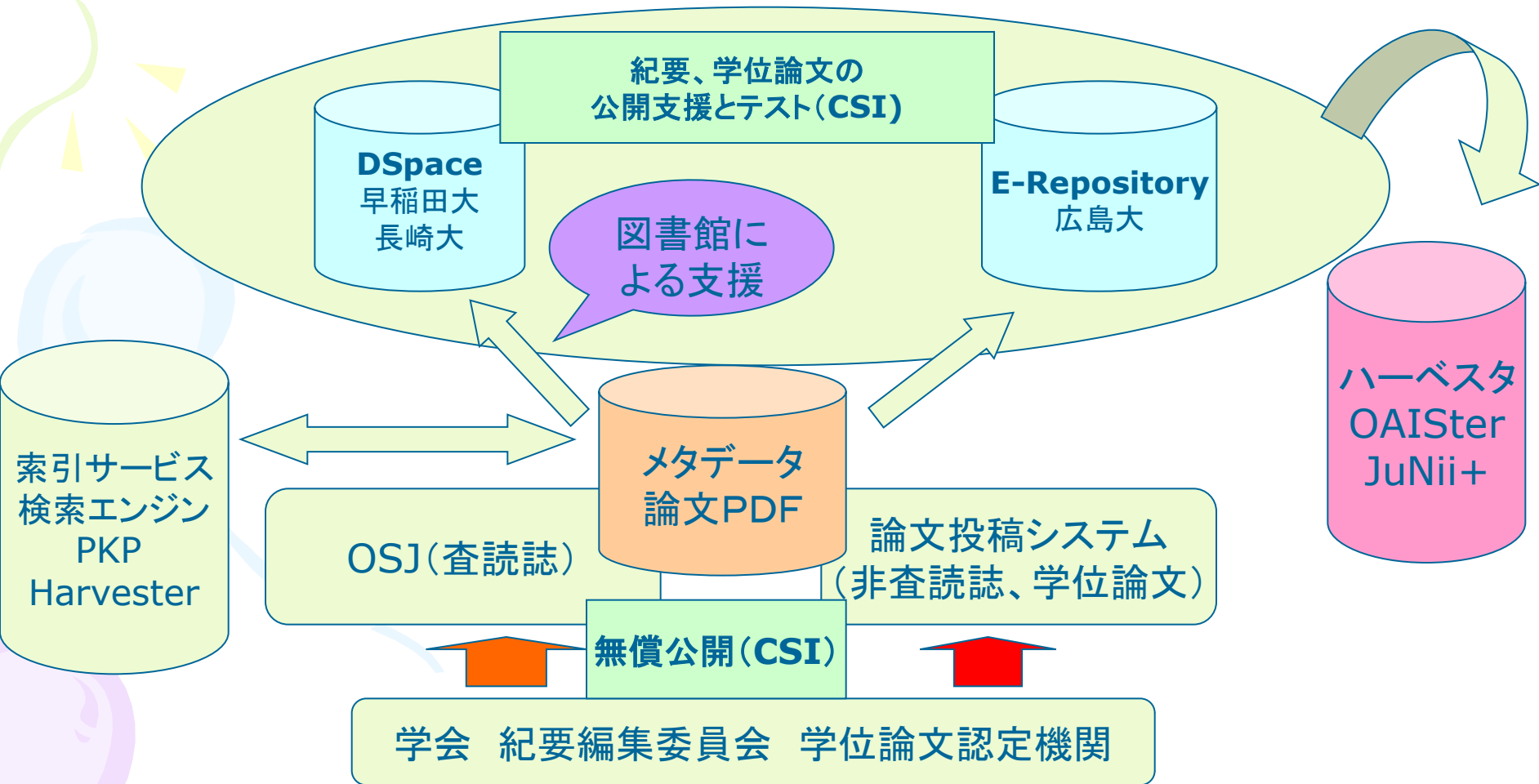


図5 電子出版システムと機関リポジトリ



業績DBと機関リポジトリ連携(1)

CSI事業 領域2 (主担当)金沢大学 (連携)早稲田大学、九州大学

目的 業績DBを更新時に論文をIRに送信可能とすることにより、コンテンツの登録を簡便化し、IRの充実を図ること。

概要 DSpaceと業績DBの連携システムを開発し、無償配布すること。連携は、業績DBからDSpaceへのコンテンツ送信と業績DBからDSpaceのコンテンツへのリンク機能の2つを可能とする。 →**図1, 2参照**

プロジェクトの内容(2006年度実施済み)

- (1) 業績DBからデータを受け取るDSpace側のアップロードツールの開発(無償)
- (2) 業績DB側がアップロードツールのデータを受け渡す改修
- (3) (1)のアップロードツールの無償公開と(2)の改修の仕様の公開

プロジェクトの内容(2007年度実施予定)

- (1) 業績DBからDSpaceのコンテンツへのリンク機能の実装
- (2) (1)のリンク機能のツールの公開(無償配布)
- (3) 学内での実装結果の公開

図1

業績DBと機関リポジトリ連携モデル

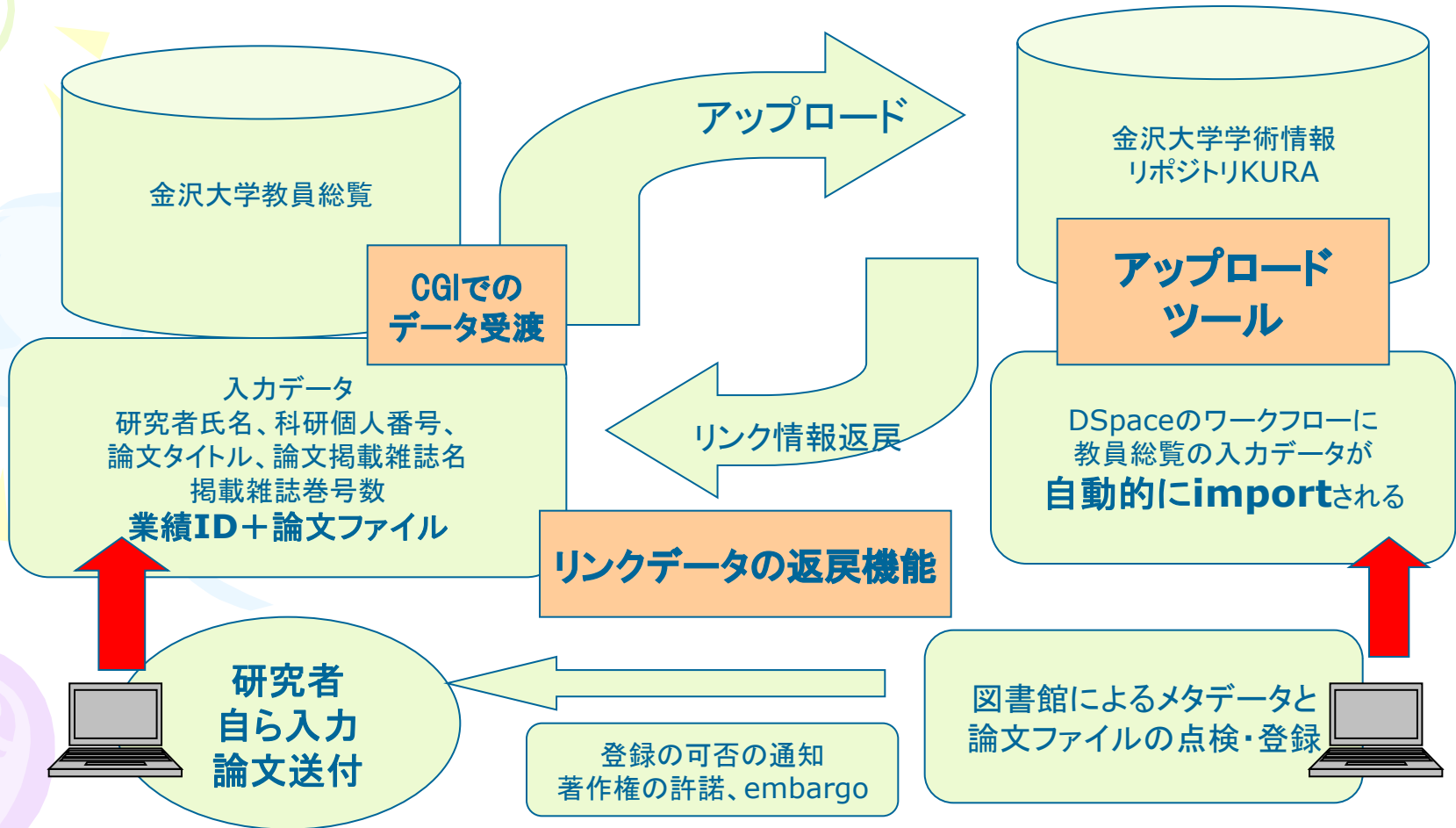
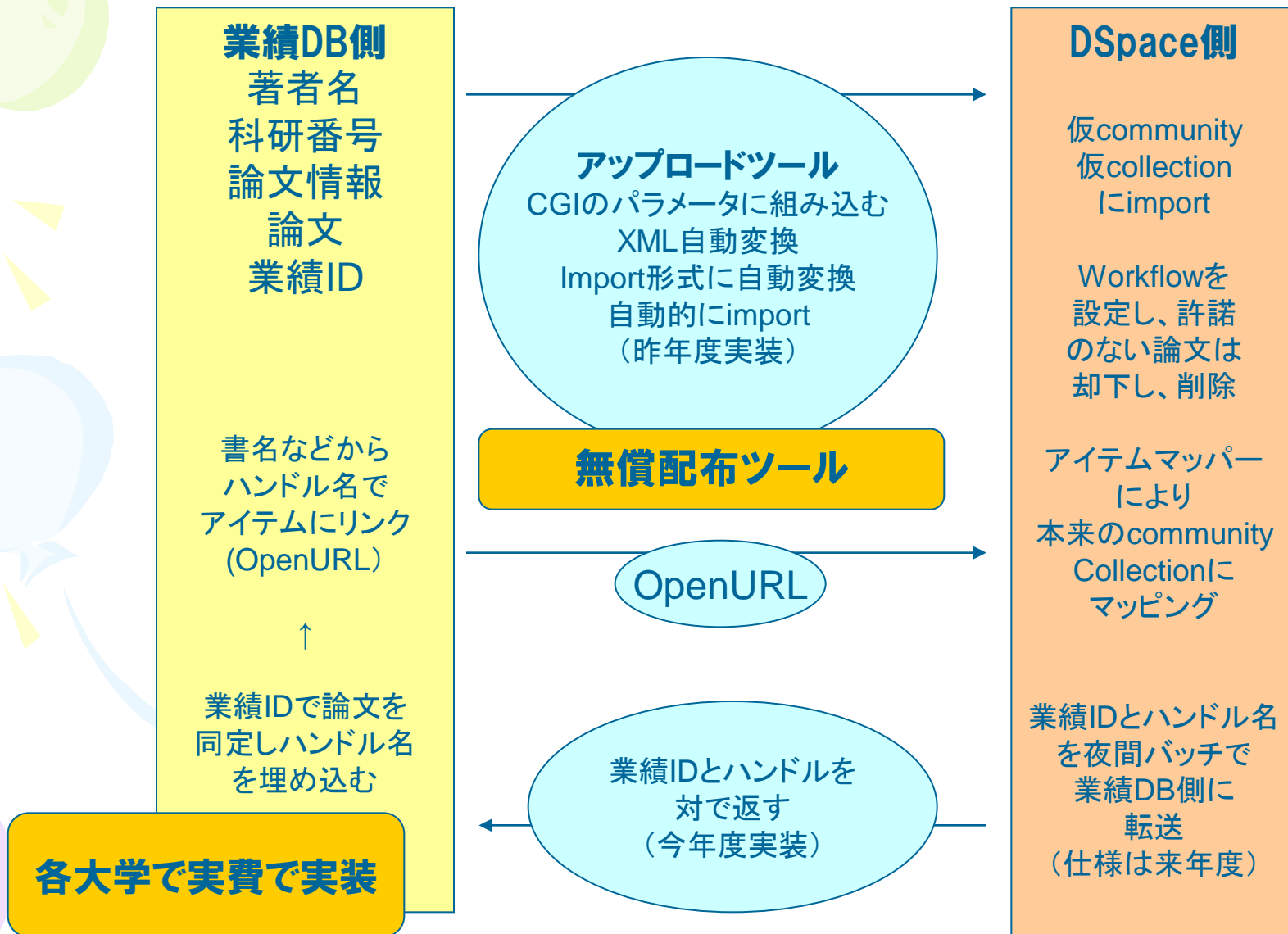


図2 業績DBと機関リポジトリ連携モデル



業績DBと機関リポジトリ連携(2)

－追加機能概要

＜業績DB側の追加機能＞各大学で実装(仕様は公開)

- (1) DSpaceのアップロードツールを呼び出す機能
- (2) 論文単位にsequentialな番号を振る(=業績ID)
- (3) アップロードツールに書誌データをアップする機能→CGIのパラメータに組み込む
- (4) DSpace側からハンドル名と業績IDの対を受け取り、データベースを更新する。
- (5) 論文タイトルなどから、ハンドル名でDSpaceのアイテムにリンクを飛ばす(OpenURL)
- (6) DSpaceとのデータマッチング(前もって設定する)

＜DSpace側の追加機能＞アップロードツール(無償配布)

- (1) 業績DBから書誌データとコンテンツを受け取り、XMLに変換して、DSpace側サーバの所定のディレクトリに配置
- (2) DSpaceにimportできる形式に変換 import用のディレクトリ構成を自動作成
- (3) ingest →仮community, collectionに一括登録(自動、手動)
- (4) workflowで編集、却下、登録を手動で実施

業績DBと機関リポジトリ連携(3)

期待される効果

- (1) 教員にとってIRより業績DBの方が入力、更新のインセンティブが高い
(図書館のメリット)
- (2) 教員にとって業績DBの更新とIRへの論文送付を一度で行なえるメリットがある(one input → multiuse)(研究者のメリット)
- (3) 業績DBと連携することにより、IRの学内での視認性を高め、IRの位置づけを明確化することが可能になる(図書館のメリット)
- (4) 図書館にとっては、コンテンツ収集のアドボカシーをシステムが代行してくれることを意味する(図書館のメリット)
- (5) メタデータなどは、業績DBの書誌データを流用できて省力化になる
- (6) 業績DBからIRのコンテンツへのリンクにより、大学の研究の視認性がさらに高まる(5は図書館のメリット、6は大学と研究者のメリット)

業績DBとDSpaceの連携イメージ (1)業績DB側からの送信

■金沢大学の研究業績DB(株SRA製)からKURA(DSpace)に業績メタデータと全文ファイルを送信するイメージ

KURAに送信されるデータが別ウィンドウで表示される。
金沢大の業績DBはかなりの項目数が多い。

業績DBとKURAとで項目が完全に対応していない
* DSpaceのupload.iniで対応を記述
科研費番号=個人ID→IRへ
各業績には業績IDが付与され→IRへ

⑤「参照」を押した後、送信したい全文ファイルをパソコンのデスクトップ等から選択
※この段階では、著作権ポリシーは未調査

⑥「決定」を押すと、KURAに書誌事項及び全文ファイルが送信される。

HTTP POSTで送信。データは翌日KURAへ
→次のポスターへ

業績システムデータ

業績ID: 001526290016

標題: 社会主義から民主主義・市場経済への移行

氏名(カナ): カシマ マサヒロ

氏名(漢字): 鹿島 正裕

氏名(ローマ字): KASHIMA Masahiro

科研費研究者番号: 001

所属部局(和): 法学部

標題(別名): 社会主義から民主主義・市場経済への移行

出版社名(和):

出版社名(英):

掲載誌名(和)【論文】: 金沢法学

掲載誌名(英)【論文】:

掲載誌名(その他)【論文】:

巻号頁: 45/1,193-224

出版年月: 2002/11

掲載誌種別【論文】: 大学・研究所等紀要

共著者氏名(和):

共著者氏名(英):

ISBN:

ISSN: 0451-324X

コンテンツファイル アップロード
*アップロードするファイルを参照ボタンから指定してください。

ファイル追加

キャンセル 決定

kashima200611.pdf
ファイルアップロード完了

処理が正しく行われました。

開じる

うまく送信された後は、このメッセージが表示される。

業績システムデータ

業績ID:001526290016
既にアップロード作業が行われています。
更新を行なう場合は、管理者にご連絡ください。

開じる

一度送信を行った論文は送信不可

①教育研究等業績データベースにログイン

金沢大学 教育研究等業績データベース 更新

最終更新日時:20070609

所属:法学部 氏名:鹿島 正裕

※登録・変更された情報は翌日に検索・照会画面及び教員総覧に反映されます。

- 教員情報 教員情報を登録します。
- 研究者基本情報 研究者基本情報を登録します。
- 研究情報 研究情報を登録します。
- 科学研究費補助金 科学研究費補助金を登録します。
- 競争的研究資金・外部資金 競争的研究資金・外部資金を登録します。
- 教育実績 教育実績を登録します。
- その他実績 その他実績を登録します。

業績DBに登録済の当該教員の業績リスト画面になります。
※逆に言うと、まず全文ファイルを送信するには、あらかじめ業績DBに登録を行っておく必要あり。

IR登録後、業績DBからIRへのリンクが張られるようになる計画(H19実施)

②クリック

③全文を送信したい文献を選択
※新規論文の場合は、まず別途登録しておく必要あり

選択	タイトル	KURA参照
<input type="radio"/>	中東戦争と米国 米国-エジプト関係史の文庫	
<input type="radio"/>	Democratization Under Occupation-The Case of Iraq Compared with Japan	
<input type="radio"/>	21世紀の世界と日本(2巻収録)	
<input type="radio"/>	中央アジア—市場化の現段階と課題	
<input type="radio"/>	中東における地域政治の構造と展開	
<input checked="" type="radio"/>	社会主義から民主主義・市場経済への移行—ハンガリーはなぜ成功したか	
<input type="radio"/>	アラブ民族主義の盛衰	
<input type="radio"/>	イラク「民主化」の可能性とアラブ世界	
<input type="radio"/>	New Regionalism in Comparison: The Emerging Regions of East Asia and the Arab Middle East	
<input type="radio"/>	アラブ-イスラエル和平交渉 キャンパデービッド以後の成功と失敗	
<input type="radio"/>	キャンパデービッド協定とエジプト-イスラエル議和	
<input type="radio"/>	第四次中東戦争(1973年)と米国-エジプト関係	
<input type="radio"/>	エジプト革命と米国	
<input type="radio"/>	イスラエル独立戦争と米国	
<input type="radio"/>	中東戦争を巡る米国-エジプトの政策とその決定過程	

④「KURAへ送信」を押す

金沢大学学術情報リポジトリKURA

業績DBとDSpaceの連携イメージ (2) DSpace側で受ける画面

■送信されたデータをKURAで受信し、登録する画面イメージ

マイリポジトリ: 情報企画課 情報企画係

① KURAに管理者IDでログイン

編集作業待ちの投稿一覧

作業	アイテム	投稿先	投稿者
投稿アイテムのチェック	イスラエル独立戦争と米...	***	情報企画課 情報企画係

作業を引き受ける

承認された投稿を確認する

② 作業を引き受けるをクリック

昨日送ったものが「編集作業待ち」状態になっている。

一時中断中の投稿一覧

以下は投稿中断中...です。選択して処理を再開すること

Submitted by	タイトル	投稿先
情報企画課 情報企画係	Untitled 1. 査読済論文	情報企画課 情報企画係

承認

却下

一旦中止

作業権返却

メタデータの編集

ワークフローを組んである特定コレクションに投稿される(この例では「***」コレクションへ)。
Import.cfgで設定

- 今回の開発の概要
- (1) アップロードツール...メタデータ+全文ファイルの取り込み
 - ・業績DBのメタデータをXML出力してDSpaceへ
 - ・全文ファイルはDSpaceサーバの所定の場所へ
- (2) Import用ファイル変換ツール... (1)のXMLをDSpaceのImportツールで扱える形に変換。業績DBの項目名をDCタグ名に変換

アイテムを確認した結果、コレクションに加えるのが妥当であると判断した場合は、[承認]をクリックしてください。

アイテムを確認した結果、コレクションに加えるのが妥当でないかと判断した場合は、[却下]をクリックしてください。画面が切り替わりますので、却下の理由をお知らせください。

メタデータを修正、追加等をする場合は、[メタデータの編集]をクリックしてください。

いったんこの作業を中止してマイリポジトリ画面に戻る場合は、[一旦中止]をクリックしてください。

作業権を返却する場合は、[作業権返却]をクリックしてください。

③ 「承認」「却下」「メタデータ編集」「一旦中止」を選択。KURAに入れる場合は、通常は[メタデータ編集]を選択

投稿: アイテムの記述 (3) DSpace Importツールのカスタマイズ

④ この画面でメタデータ編集

著者名は微調整が必要

著者(Authors)

たつえば、山本

たつえば、太郎

この項目を抹消

フィールド追加

タイトル(Title)

社会主義から民主主義・市場経済への移行——ハンガリー

アイテムのタイトルを入力してください。Enter the main title of the item.

タイトルはきちんと所定の場所に入る

アイテムに付与されたシリーズ名と番号を入力してください。Enter the series and number assigned to this item by your community.

シリーズ名

レポート番号あるいは報告書番号

シリーズ/報告書番号 (Series/Report No.)

フィールド追加

アイテムに何らかの識別子が付与されている場合は入力してください。If the item has any identification numbers or codes associated with it, please enter the types and the actual numbers or codes below.

識別子 (Identifiers)

ISSN

0451-324X

この項目を抹消

ISSN

001:

この項目を抹消

ISSN

001:

この項目を抹消

ISSN

金沢法学

この項目を抹消

ISSN

45/1,193-224

この項目を抹消

ISSN

この項目を抹消

フィールド追加

Kanazawa University Repository for Academic Resources

最新登録アイテム

第4次中東戦争(1973年)と米国のエジプト関係

イスラエル独立戦争と米...

社会主義から民主主義・市場経済への移行——ハンガリーはなぜ成功したか

完了。「図書館作業用」のコミュニティに登録

図書館作業用

コミュニティ・ホームページ

検索対象: 図書館作業用

検索語

検索

あるいは、ブラウス

タイトル

著者

日付

このコミュニティのコレクション

*** [7]

現在、図書館で登録作業を行っているコンテンツです

必要があれば、正式コレクションにマッピング...本当は移動させたい。

このコレクションのデフォルトを“全文非公開”にしておき、ファイルをPDFに差し替えた後に全文を公開

この状態で、送られてきたものについて著作権ポリシーを確認する=その間、保留状態にしておく。著作権ポリシーOKならば登録。不可の場合、却下...もったいない?

全文ファイルをPDFに差し替えるといった作業は、ここではできない=一旦登録した後、差し替えを行う。

金沢大学学術情報リポジトリKURA

最後にまとめ

(1) オーバーレイジャーナルは、IRが研究者の情報発信を援助し、大学の学術情報発信にとってのインフラを提供する仕組み。また同時に学術コミュニケーションのあり方を変える潜在的な力を持っている

→ **学術情報発信支援、大学の情報インフラとしてのIR**

(2) 電子出版システムは、オーバーレイジャーナルと同じく、研究者の情報発信を、投稿、査読、編集、雑誌発信のプロセスに立ち入って支援する仕組み。IRはその先端にたって論文の視認性を高める支援をする。

→ **学術情報発信支援、雑誌作成支援、大学の情報インフラとしてのIR**

(3) 業績DB連携は研究者の論文登録支援を行ないつつ、IRの位置づけを強化し、論文数を定常的に増加させる。

→ **コンテンツ登録支援、one-input multi-useシステムの構築
大学の情報インフラとしてのIR 図1参照**

図1 オーバーレイ、電子出版、業績DB連携の全体の見取り図

学内でのシステム連携図

